

水性タイプで取り扱いが安全
そして環境に優しい

透湿基礎コート

2タイプ

Pタイプ(水性無機系造膜型)特長

- ①水性無機系塗料で艶消し
- ②透湿性があり基材の呼吸性を維持
- ③防藻性、防カビ性、撥水性

Sタイプ(フッ素系浸透型)特長

- ①優れた撥水持続性
- ②吸水防止性
- ③高浸透によるコンクリート長期保護

白

グレー

モルタル
グレー

フレッシュ
グレー

N-93程度

N-65程度

35-65A程度

25-75A程度

※Pタイプは淡彩調色も可能です。
※色見本は印刷のため、実際の色調とは異なります。



【施工前】



【施工後】

標準仕様

新設・未塗装コンクリートの場合

	工程	使用材料	希釈材	塗付量 (kg/m ²)	塗装方法	塗装間隔 (23℃)
共通	素地調整	・クラック、欠損等劣化状況に応じ下地調整する。 ・ゴミ、砂塵、油脂分、チョーキング粉等を高圧水洗で除去し、十分乾燥させる。 含水率目安:ケツ水分計6%以下				
	Pタイプ					
	下塗	透湿基礎コートP	清水 5~15	0.15~0.20	はけ、ローラー	3時間以上 7日以内
	上塗	透湿基礎コートP	清水 5~15	0.15~0.20	はけ、ローラー	24時間以上 乾燥養生

Sタイプ	調合方法	透湿基礎コートSタイプと着色剤は質量比100:30(標準)の割合で調合しよく攪拌すること。 Sタイプと着色剤は一度に混合せず30~50:30で均一に混合してから、残りのSタイプを加えると混合しやすい。着色剤は粘度が高く、缶底、内壁に付着しやすいのでよく攪拌し均一に混合しているか確認すること。施工中も分離していないか注意し一定時間ごとによく攪拌すること。				
	下塗	透湿基礎コートS (着色剤30%)		0.08~0.10	はけ、ローラー	追っかけ塗り 1時間以内
	上塗			0.08~0.10	はけ、ローラー	24時間以上 乾燥養生

容量:Pタイプ	10kg	塗装面積:Pタイプ	25~33m ² /10kg/2回
Sタイプ	10kg	Sタイプ	50~62m ² /10kg/2回
専用着色剤	3kg		

・注意事項

【共通】

- ・開缶後は、よく混ぜて均一にしてから使用してください。
- ・次のような場合は塗装を避けてください。
 - 1.降雪雨時、又はその恐れのある時
 - 2.強風時やほこりのひどい日
 - 3.気温5℃以下相対湿度85%以上の時
 - 4.被塗面が結露しているか、未乾燥中に結露する恐れがあるとき

【Pタイプ】

- ・下地の吸い込みが著しい場合は下塗りを2回塗付してください。
- ・所要量は被塗物の形状、素地の状態、塗装方法、気候条件、希釈率等の各種条件により増減します。
- ・Pタイプは基材の凹部分に溜まる等、厚く付いた場合にはひび割れを生じる可能性がありますのでご注意ください。
- ・躯体が動くと塗膜が割れる可能性がございます。
- ・塗り重ね時間は環境(温度、湿度、換気、風通しやすさ)や膜厚によって変わります。段差、巣穴、ひび割れなどは下地調整材で平滑に調整してください。
- ・塗装面は区切りの良いところまで塗装してください。途中で止まると色むらが発生する原因となります。
- ・既存塗膜がある場合、SPホワイトシーラーが必要となります。
- ・飛散防止に十分注意し、養生などを行ってください。
- ・シーリング部に塗装すると粘着が残る恐れや割れが発生する場合がありますので、あと打ちを推奨します。
- ・補修塗料が必要な場合がありますので、補修用に使用塗料の控えを必ずとっておき同一ロット、同一塗装方法で補修塗装してください。
- ・凍結防止のため0℃以上で保管してください。
- ・塗料の取り扱い時、塗装時は、換気を行ってください。また、塗装後も乾燥のために、換気を十分に行ってください。
- ・他の塗料やシンナーと混ぜないでください。
- ・取り付け金具くぎ頭などは、予めさび止め塗料を拾い塗りしてください。
- ・低温または高温時には、乾燥が遅くなりますのでご注意ください。
- ・使用後の塗装用具は、すぐに水か温水で洗浄してください。

【Sタイプ】

- ・試し塗りを必ず実施し事前確認及び塗付量(着色剤の添加量)を決定してください。
- ・ヘアークラックが発生している場合、塗装後にクラックが目立つことがありますので、透湿基礎コートSに着色剤を混合せずに塗装したのち、下塗をしてください。
- ・既存塗膜がある場合、塗装できません。
- ・使用する前に缶を振る等してよく混ぜてください。
- ・Sタイプは希釈せずそのまま使用してください。
- ・塗付後24時間(20℃)は水がかからないように養生してください。(塗付後撥水性が発揮するまでに雨水、降雨、降雪などで白亜化の原因になる場合がありますので十分にご注意ください。)
- ・冬季などの低温時や高温時、塗布後2~3日以内に雨に打たれた場合、撥水性の発現が大幅に遅れることがあります。
- ・気温8度以下、風速5m/秒以上、降雨、降雪の場合は施工を避けてください。また施工中に降雨、降雪などにあった場合は施工を中止し、シート養生をして塗付面を保護してください。
- ・塗付対象面以外の箇所(植物、金属、ガラス、木材、コーキング材等)は、養生などを施し、付着させないようにしてください。
- ・ガラス面、金属面、プラスチック面等に付着した時は、速やかに除去してください。(固着すると全く除去できなくなる場合がありますので、十分に注意してください)
- ・塗付面の油脂類、汚れ等は撥水性を損なう場合がありますので、洗剤等で十分に洗浄、除去し、乾燥した状態で塗布してください。
- ・塗付方法は、はけ、ローラーを使用してください。
- ・塗装機器、塗装器具などは使用後速やかに洗浄してください。

大同塗料株式会社

大阪支店 〒532-0032 大阪市淀川区三津屋北2-14-18

Tel.06-6308-6281 Fax.06-6308-3618